

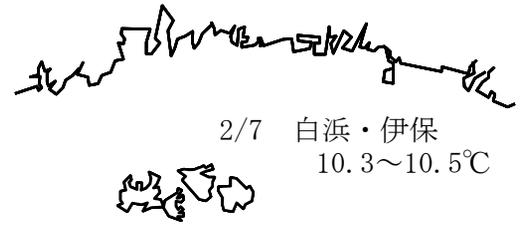
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 12号)

2020年 2月10日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場においても珪藻の発生量は少なくなっていますが、窒素は低い状況が続いています。沖合漁場ではコシノディスカスが散見される以外、珪藻は確認されませんが窒素は1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場では小型のキートセロスが散見されるが、ユーカンピアは群体が僅かに見られる程度であり珪藻全般に少ない状況であった。沖合漁場において、珪藻はコシノディスカスが海水1Lあたり30~50細胞と散見された以外ほとんど見られないが、窒素は坊勢海域で1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、家島海域で2 $\mu\text{g-at/L}$ 前後であった。近隣海域(岡山・香川県)の窒素が漸減していることもあり、この海域においてもその傾向が伺える。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.0	0.3	1.5	2.6
	リン	0.41	0.34	0.24	0.33
家島・坊勢	窒素	2.2	1.9	1.9	2.8
	リン	0.54	0.48	0.35	0.35

(1/29) (2/6)

栄養塩 (窒素) 図

2020年 2月10日調査

